

災害への備え をお願いします

☑ エレベーター は使えません！

発災後、安全確認が完了するまでは階段を昇降して生活することになります。日頃から、水や食料などの生活必需品を備蓄しておくことが必要です。

☑ トイレは流せません！

配管が破損していた場合、汚水が逆流し下階のトイレからあふれる可能性があります。ご家庭で水を使わずに済む「簡易トイレ」を備えておきましょう。

☑ 安否確認方法 を決めておきましょう

家族だけでなく、居住者同士でも協力して安否確認を行いましょう。

☑ 防災活動に参加 しまししょう

お住まいの管理組合・自治会・町会等が実施する防災活動に参加しまししょう。災害時の協力や助け合いは、日頃からの活動があつてこそ成果をあげられます。

☑ 日常備蓄 を進めまししょう

食料品や日用品を少し多めに備える「日常備蓄」を実践しまししょう。エレベーターの停止等を踏まえ、7日間以上の備蓄を推奨しています。

東京  備蓄ナビ

あなたに必要な備蓄数量がわかります！▶




関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

2023年は関東大震災から100年

関東大震災では、地域の力が救助や相互扶助に大きく貢献したとの教訓が残っています。災害に対し、都民一人ひとりの備えや地域で助け合っていくことが必要であることを改めて考えまししょう。

問合せ



東京都

総務局 総合防災部 防災管理課 地域防災力推進担当
S0000040@section.metro.tokyo.jp

